令和 2 年度事業 事後評価·決算 事務事業マネジメントシート

-	事務事業名	地域活性化・公共放	施設整備事業(電源交付金)	所属部	政策企画部	所属課 地域振興課		
総		〈 I 〉みんなで築くまち	。≪協働•行政経営≫	所属G	尾原ダム・国際交流 G	課長名 板持周治		
合		〈01〉市民が主役のま	ちづくりの推進	担业 学夕	須谷大輔	電話番号 0854-40-1013		
計	目対表		意 まちづくりの課題を主体的に解決する。		没 合入	(内線) 2312		
画	的象		図よううくりの課題を主体的に解決する。	。 	会計 款 大事業 大	事。電源立地地域対策事業		
体工	基本事業名	〈003〉まちづくり活動(の拠点整備	17 升17 口	0 1 1 0 0 1 業	笔名 电源立地地域对象事条		
糸	目対 的象 ^{市民}		意 図 活動しやすくなる。		項 目 中事業 中 0 5 8 0 0 1 業	事 電源立地地域対策事業		

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

市内には、発電事業者の水力発電施設等があるが、一定基準以上の発電施設のある市町村へ都道府県を通じて交付される電源立地地域対策交付金があり、本市も対象となっている。

(期間限定複数年度事業は全体像を記述)

この交付金は公共用施設の整備や地域活性化事業などの事業に対して交付され、R2年度に本市に入ってきた交付金は12,349,590円となっている。

※主管課:地域振興課(H25)⇒ダム対策課 (H26)⇒地域振興課(H27~)

(2)事務事業の手段・指標

① 主な活動 R2年度実績(R2年度に行った主な活動) R3年度計画(R3年度に計画する主な活動) ①市道湯坪線ガードレール取替 ②【自治会施設等整備補助金】 ール取替事業 ①西日登交流センター防災備品整備事業 ②温泉交流センター防災備品整備事業 石自治会集会所エアコン修繕事業 ③成畑生活改善センター横用水路及び成木導流提用水路改 ③【自治会施設等整備補助金】 野谷自治会除雪機収納庫整備事業 ④三刀屋交流センター横公園遊具整備工事 ④鍋山交流センター和室床修繕工事 ⑤掛合町防災備品整備事業 ⑤吉田町(吉田・田井・民谷)交流センター防災備品整備事業 ⑥防災用音響備品整備事業 ⑥杰胶恒田水路修缮事業 7.志食白治会防火水槽補水用水道管延伸事業 ⑦【自治会施設等整備補助金】 ②心及日况会份久尔福福尔用尔道官基件 ⑧松笠地区防災備品収納庫整備補助事業 吉田町(吉田・田井・民谷)交流センター防災備品整備事業 ⑧門自治会ゴミ集積倉庫及び集会所改修工事 9バス停留所標識柱設置事業 9成畑生活改善センター横用水路改修工事 ⑩バス停留所標識柱設置事業

	②活動指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
ア	事業数	箇所	6	5	10	9
イ						
ウ						
エ						

(3)事務事業の目的・指標

	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
目		7	7 人口	人	37,012	36,248	36,861	35,818
	市民		,					
	目	4	7					
É	的② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
	│	りゅう ファイン ファイン ファイン アイア アイア アイア アイア アイア アイア アイア アイア アイア ア	7 交付金活用率	%	98.7	98.5	98.8	100.0
	活性化事業を実施することにより地域。 の活発化を図る。	舌動[1	,					
		4	7					

(4)事務事業のコスト

(4)争伤争未のコヘト								
① 事業費の内訳 (2年度決算)		2	コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
①市道湯坪線ガードレール取替事業(1,202千円)			国庫支出金	千円				
②石自治会集会所エアコン修繕事業(293千円) ③野谷自治会除雪機収納庫整備事業(185千円)	=	財源	県支出金	千円	12,469	12,480	12,350	8,511
④鍋山交流センター和室床修繕工事(1,771千円)	争	内	地方債	千円				
⑤掛合町防災備品整備事業(1,133千円) ⑥森脇堰用水路修繕事業(737千円)	未	訳	その他	千円				
⑦吉田町(吉田・田井・民谷)交流センター防災備品整備事業	貝	רם	一般財源	千円	432	160	9	120
(2,978千円) ⑧門自治会ゴミ集積倉庫及び集会所改修工事(1,335千円)			事業費計(A)	千円	12,901	12,640	12,359	8,631
③ の は は は は は は は は は は は は は は は は は は	人		正規職員従事人数	人	2	2	2	
⑩バス停留所標識柱設置事業(1,540千円)	件		延べ業務時間	時間	1,000	1,000	1,000	
	費		人件費計(B)	千円	4,332	4,240	4,208	
		<u> </u>	·タルコスト(A)+(B)	千円	17.233	16.880	16.567	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)

② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革

改善をしているか?)

③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や 要望が寄せられているか?)

H15年10月に複数の交付金を統合し、新たに「電源立地地域対策交付金」となった。その際に、交付対象地域が水力発電周辺地域から、市内全域へと拡大された。H23年度からは、交付期間が10年延長され最大40年となり、また、R3年度からはさらに10年延長されて最大50年となった。なお、交付金額も変更された。

R2年度に「4カ年基本計画」が終了。R3年度からは木次町、三刀屋町、吉田町及び掛合町の4町の減水等の影響を受けている地域を優先し、毎年度予算編成の際に翌年度実施事業を検討する方針とした。

水力発電施設の周辺地域にヒアリングしたところ、 水力発電施設の立地に伴う影響が数多く残っているという意見が多数あり、地域住民からは減水地域 を中心とした事業の継続が求められている。また、 減水影響地域からは、本交付金の活用に対する期 待が寄せられている。

所属部 政策企画部

所属課 <mark>地域振興課</mark>

$\overline{}$	事後評価	I OFF
~	主役™	$1 \times E = 1$

2	爭後	e評価【SEE】										
Α	1 I	牧策体系との整合性 見直し余地がある)政策体系に結び いている	つくか?	意図することが結び*	ついているか? 余地がある場合	=	見直し余	地があるとす	る理由
目的	21	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して達成する目的か?										
妥当性	<u> </u>	□ 兄直し示地かめる ■ 女当でめる ひこ ルニー										
性	(3) X	対象・意図の妥当性	対象を限定・追加	する必要	はないか?意区	を限定・	拡充する必要はなり	いか?				
	Г	□見直し余地がある	5 ▼ 適	切であ	5る 		*	余地がある場合	=			
	<u>④</u> 反	<u> 戈果の向上余地 成</u>	果を向上させる余地	はあるヵ	、? 成果を向上さ	させるため	め現在より良いやり	方ははないか?	何が原	原因で成果向	り上が期待でき	ないのか?
	I.	☑ 向上余地がある			地域の自	主的な	活動の活発化	及び行政との	の協働	を推進す	るため、事	業の実施内容に
	Г	□ 向上余地がない		-m 1	応じて、向	1 卜余州	むがないとは言	えない。				
				理由	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	. — /,	5.0 0.0 C.0.D.	, , , , , ,				
	(-	。 日 / 4817									
	(5) 身	<u>廃止・休止の成果へ</u>	ル影響 この事務	事業を原			『の有無とその内容					
В		□ 影響無			水力発電	施設設	:置自治体に対	する国の交付	付金事	業を活用	する手段を	失ってしまう。
	·	▶ 影響有		珊山								
有				理由								
効												
性	6 *	頁似事業との統廃合	・連携の可能性		ナルは この声数	古类以及	のエロ(籽似古巻)に	++11.4.0 + 7.E	3人 7/	のおりませい	の仕座へ 事様	
	<u> </u>		* ある場合			争耒以外	の手段(類似事業)に	はないか? める場	万古、て 0	の類似争果と	の航廃台・連携	かじざるか?
] 他に手段がある、	,	()()	りな手段							
		□ 統廃合・		で類形	(事業名)							
		□ 統廃合・	連携ができない		水力発電	に対す	る地元の理解は	と協力を得る	ことか	バ交付目的	りで、類似σ)補助制度がな
				理由	い。							
	Ī.	7 他に手段がない		连田								
	7 3	事業費の削減余地	成果を下げずに事業	生典大部	浦できたいかつ((仕掛め)	て注の滴正ル 住民	2のわわかど)				
	<u> </u>	削減余地がある	八木で 117910年2	に見る別					/+수t	九太却ラフ	担合には	地元負担を伴う
	- 1								13 32 1	TT C ME / C / C	が回しては、	地ル貝担を作り
		☑ 削減余地がない		理由	ことを削抗	EI〜争え	美を実施してい.	ବ				
С												
効												
率	<u>⑧ ノ</u>	人件費(延べ業務時	間)の削減余地	成果を			で延べ業務時間を削					
性		□ 削減余地がある			交付金の	申請事	務、設計、発注	:、実績報告	等の事	事務を必要	要最小限の:	業務で行ってい
	·	✓ 削減余地がない		TED	る。							
				理由	•							
	(Q) F	· 益機会·費用負担(の適正化全地	車業中	マバー 切 ヘ 平 サ	老に店	アハア不八亚では	たいかつ 平井:	李 色中-	がみずっひて	th 2	
D		▼ 量		尹未內			ていて不公平では					業に活用している
公												きである。しかし、現
平		□ 公平・公正である		理由				-:				
性											力軒として小	力発電周辺地域を
Ιエ					愛先するか	、巾笙耳	或での活用に向!	ナに調整してし	八少岁	きかめる。		
	1	次評価者としての評	「 価				② 1 次 歌 本	結果の総括	/ 加 + bn	レ理中)		
	U I	久計画句としての計	「川和木					(- D-la 1 1	- Alle I -		ロナンクロナナー	た 土 +
評		口的立业性	国 海 护		古し今歩も口		地元ニーズを	と始まえた事	・耒内	谷とし、滞	ツはく美他	じさた。
価		、目的妥当性 · · · · · ·			直し余地あり							
の	Е	3 有効性	□ 適切	☑ 見	直し余地あり							
総	С	〉効率性	🔽 適切	□ 見	直し余地あり							
括) 公平性			直し余地あり							
-		, , , , , ,	- Yes 91	בול ב	三しハルじのう							
_	A	·										
3		の方向性【PLAN】 次証価者以 ての事	攻声 类 の ナ 白			1 - 101 - 22				<u> </u>		・トス即体式田

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果
□廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 ■事業のやり方改善(有効性改善) □事業のやり方改善(効率性改善) ■事業のやり方改善(公平性改善) □現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・令和3年度以降は市全域を対象とする。 ただし、発電施設の対象流域が受益対象として関連しないものには活用しない。 ・交付金は対象流域(木次町、三刀屋町、吉田町、掛合町)において優先的に活用する。 ・広域的に活用する場合であっても対象流域に関連するものとする。 ・具体的な整備内容等は、毎年度予算編成において調整する。 ・この方針は令和3年度から5年間とし、5年ごとに見直しを行う。	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上 しない、もしくはコスト維持で成果低下では 改革・改善とはならない。